



# まんだらげ

vol. **11**  
2009.12

## 患者さまの権利

- 1 個人として尊重され、質の高い医療を受ける権利**  
個人の人格が尊重され、年齢、性別、信条、障害の有無などにかかわらず、必要かつ十分な医療を平等に受ける権利があります。
- 2 医療について十分な説明を受ける権利**  
ご自身が受ける処置・手術や検査等について、十分な説明を受ける権利があります。また、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を求める権利があります
- 3 自分が受ける医療を自ら決定する権利**  
納得できるまで説明を受けたのち、ご自身が受ける医療について意見を表明し、自らの意思に基づいて決定する権利があります。
- 4 医療について情報提供を受ける権利**  
自分の病気や受けている医療について知ることができるとともに、カルテ等の開示を求める権利があります。
- 5 個人情報やプライバシーが守られる権利**  
医療に関する個人情報やプライバシーは厳正に保護される権利があります

## CONTENTS

- 診療科紹介／【眼科】【泌尿器科】
- 病棟だより／9階西病棟
- くるーずあっぷ／腫瘍センター設置
- お役立ちメモ／治験への参加について
- 栄養ワンポイントアドバイス／塩分の過剰摂取に注意
- お薬の話／新型インフルエンザワクチン

### 広報誌「まんだらげ」の名称について

和歌山を代表する江戸時代の外科医・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「曼陀羅華(まんだらげ)」から引用しています。花に「医」の文字をデザインしたものは、本学の校章にも採用されています。

## 理念

私達は患者さま本位で、質の高い医療を提供し、地域の保健医療の向上に貢献します。

## 基本方針

1 患者さまとの信頼関係を大切にし、安全で心のこもった医療を行います。

2 高度で先進的な医療の研究をすすめ、その成果を反映した医療を行います。

3 豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人を育成します。

4 地域の中核病院として、和歌山の保健医療を推進します。



## 【眼科】

# 先端機器と高い技術の専門医で万全の診療体制 早期根治と徹底した術後管理

眼科は、白内障や糖尿病網膜症、網膜剥離、緑内障、斜視、黄斑変性症、悪性腫瘍など、視覚器にかかわるすべての疾患を対象とし、高度な診断と治療を提供しています。なかでも白内障日帰り手術においては平成7年1月からいち早く開始、現在では高齢化にともない入院外来合わせて年間手術件数は約2500件。高い実績を重ねています。眼科手術のなかでも難しいといわれる硝子体手術も最先端機器と十分に経験と実績を積んだ専門医の技術で、日帰りが可能になりました。また、昨年は近視外来を新たに開設しました。環境の変化によって増える強度な近視の患

者さんのための外来です。

今後も大学病院の特徴を生かし、他科とも連携しながらハイレベルな医療をめざします。



## 【泌尿器科】

# 身体にやさしい手術で根治性とQOLの向上をめざす

泌尿器科では、尿路生殖器がん、尿路結石、腎移植、排尿障害、小児泌尿器科、女性泌尿器科の各分野において高い専門性を持ったスタッフが日々の診療にあたっています。泌尿器科領域における<sup>ふくくきょう</sup>腹腔鏡手術の進歩は目覚ましく、従来の開腹手術の多くは腹腔鏡手術に変わりつつあります。腹腔鏡手術は身体にかかる負担が少ないのはもちろんですが、もう一つの利点である明るく拡大された手術視野を最大限にいかし、開腹手術を凌駕する手術を確立していくことが私たちの目指しているところです。また、病気の根治性(完全に治すこと)だけでなく術後のQOL(生活の

質)の向上も同様に重要なことであると認識し、患者さんの納得される治療を提供すべく努力しています。



## 病棟だより

# 早期離床・早期退院めざし スタッフ一丸となってサポートします

9階西病棟は泌尿器科34床と歯科口腔外科10床、共通床含め全50床あります。看護スタッフは25名。「早期離床、早期退院」をモットーに、患者さんの支えになり、安心して納得いく治療が受けられるよう、また一日も早く普段の生活に戻るよう取り組んでいます。

また、尿路変更手術をされた患者さんには、日常生活に慣れるまでスタッフ一丸となってサポートしています。



## 都道府県がん診療連携拠点病院として、臓器横断的・職種横断的なチーム医療を基本とした先進的で集学的ながん診療を行うため、本年10月に「腫瘍センター」を設置しました!

当センターでは、化学療法部門、放射線治療部門、緩和ケア部門の3つの診療部門が日常的に連携を図るとともに、手術等を担当する診療科と連携することにより、各部門の特性を活かした先進的・集学的ながん診療を実施しております。

これらの診療部門以外には、地域連携室に併設している「がん相談支援センター」において、様々ながんに関する情報の提供を行うとともに、患者さまやそ

のご家族の方からの悩みや相談などに専門の相談員が対応しております。

また、本年10月25日には、近畿大学医学部腫瘍内科の中川和彦教授(写真左から3人目)を講師にお招きし、当腫瘍センター設立を記念した講演会を院内で開催。約80名の県民の皆様に参加いただき、「がん診療連携拠点病院の機能や役割から最新のがん治療まで」を紹介いたしました。

### <腫瘍センター構成員>

腫瘍センター長(病院長兼任)  
畑埜 義雄(写真右から4人目)

腫瘍センター緩和ケア部門長  
月山 淑(写真右から2人目)

腫瘍センター副センター長(副院長兼任)  
山上 裕機(写真右端)

腫瘍センター化学療法部門長  
上田 弘樹(写真右から3人目)

腫瘍センター放射線治療部門長  
岸 和史(写真左端)

がん相談支援センター医療福祉相談員  
濱路 祐子(写真左から2人目)



## お役立ちメモ

### 治験への参加について【治験管理センター】

新しい「お薬の候補」が厚生労働省に認可され、新薬として患者さまに使用されるまでには、本当に効果があるかどうか、安全に使用できるか等を何段階にもわたって慎重に調べる必要があります。

現在、病院などで使用されている医薬品は、数多くのボランティアや患者さまの理解と協力によって有効性・安全性が確かめられた後、認可されたもので多くの病気の治療に役立っています。

「お薬の候補」のヒトでの有効性、安全性を調べる試験を治験(臨床試験)と言い、当院ではこれを実施するためにヒトを対象とする医学研究の倫理的原則である「ヘルシンキ宣言」及び国が定める「医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令」に基づいて患

者さんの安全と人権を厳格に守り、治験が科学的かつ正確に実施できるよう最大限の注意を払って実施しています。

治験については、当院の治験審査委員会において治験の倫理性、安全性、科学的妥当性につき厳格に審査を行っています。

現在、当院ではパーキンソン病治療剤、抗がん剤、ネフローゼ症候群治療剤など約20品目の治験を実施しています。詳細についてはお気軽に治験管理室までお問い合わせください。

みなさまの治験への参加をお待ちしています。

問: TEL 073-441-0547





## 栄養ワンポイントアドバイス【病態栄養治療部】

### 冬場は塩分の過剰摂取に注意

寒くなると鍋料理や汁物が美味しく身体も温まります。しかし、塩分の過剰摂取にもつながり、高血圧症の方や腎臓疾患の方は特に注意が必要です。また、厚生労働省では一日の食塩摂取目標量を男性10g、女性8g未満としています。国民健康・栄養調査では男性12g女性10.3gと多い結果となっています。

そこで、ちょっと便利な「ピリ辛みぞれ」をつくって、減



塩対策を行いませんか。

好みに合わせ鍋物や焼き物、醤油を足したい時に使うと便利です。

#### ＝ピリ辛みぞれ＝

○材料 一人前＝大根おろし 50g、酢 6g、みりん 3g、葉ネギ 少々、唐辛子 少々

○作り方 大根おろしの水気を少し切り、酢とみりんを加え一度加熱します。次にお好みの量の葉ネギと唐辛子を入れます。

○栄養価 エネルギー 18kcal、たんぱく質 0.2g、脂質 0.1g、炭水化物 3.6g、塩分 0.02g

## お薬の豆知識

### シリーズ⑪

### 「新型インフルエンザワクチン」

～薬剤部から～

新型インフルエンザワクチンについて、当院では10月中旬ごろから医療従事者の接種が始まりました。続いて妊婦、基礎疾患を有する者(1歳～小学生3年に相当する年齢の者、入院患者、医師が最優先と判断した者ほか)。ワクチンの総量が限られているため、国が決定した優先順位にしたがって接種が開始されています。国からのワクチンの供給状況や接種回数の変更などにより、接種スケジュールは変更されることもあります。

### ◎お手軽検査で健康チェック

血液検査で健康状態をチェックする「お手軽検査」を行っています。当院及び医療機関で受診中以外の16歳以上の方が対象です。検査料は腎機能300円糖尿病800円、肝機能1100円ほか。希望の方は2階正面玄関の県民コーナーに設置している自動券売機で検査券を購入の上、3階中央検査部受付まで。

### ◎附属病院への寄附について

当院ではみなさまの寄附金を受け入れています。寄附金は当院の医療技術向上のため、特に若手医師、看護師、医療技師における研究や研修支援などに活用させていただきます。

問:TEL073-447-2300(代)

和歌山県立医科大学 企画課

### 「最新の医療カンファランス」

場所:和歌山県立医科大学 図書館棟3階(生涯研修・地域医療支援センター研修室)

日時:いずれも午後3時～午後5時

定員:100人 参加無料

#### ■12月10日(木)

「関節リウマチの内科的治療・外科的治療について  
～よりよい生活をめざして～」

○関節リウマチの内科的治療について

講師:医大・腎臓内科・血液浄化センター 美馬 亨(みまとおる)

○関節リウマチの外科的治療について

講師:医大・整形外科教室 坂田 亮介(さかたひょうすけ)

#### ■1月14日(木)「消化器がん検診ー最新の話題ー」

○検診を受けてみようー胃がんの予防と早期発見ー

講師:医大・内科学第二教室 向林 知津(むこうばやしちづ)

○増加している大腸がんーその予防と検診についてー

講師:医大・内科学第二教室 榎本 祥太郎(えのもとしょうたろう)

#### ■3月11日(木)「前立腺の病気に関する最新の話題」

○前立腺肥大症について

講師:医大・泌尿器科学教室 児玉 芳季(こだまよしき)

○前立腺がんについて

講師:医大・泌尿器科学教室 原 勲(はらいさお)

問:TEL 073-441-0789 和歌山県立医科大学生涯研修地域医療支援センター

お知らせ

## 和歌山県立医科大学附属病院広報誌 まんだらげ〈vol.11〉

2009年12月発行

発行/和歌山県立医科大学附属病院

〒641-8510 和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

【ホームページアドレス】

<http://www.wakayama-med.ac.jp/hospital>

※診療スケジュールは、ホームページからご覧いただけます。

### 外来受付時間

・受付時間 午前8時50分～午前11時30分

・再診で予約のある方は指定時間(予約票の記載時間)

・休診日/土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

### 電話予約センター

受付時間 月～金 午前8:30～午後4:00

【祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く】

TEL 073-441-0489

電話をしていただく時間帯により、回線が大変ごみ合うことがあり、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、ご了承ください。

次号発行は  
3月です。